

【岐阜県下呂市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（令和3年1月26日・中央教育審議会答申）においては、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、子供たちの資質・能力を確実に育成する必要があるとあり、学習指導要領の着実な実施が重要であるとし、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの重要性を示している。

下呂市では令和2、3年度を中心に1人1台端末と校内ネットワーク環境の整備を行い、学校 ICT（Information and Communication Technology）環境の充実を図り、デジタル学習の基盤を整え、ICT 技術活用のための整備を行いました。

GIGA 第2期においても ICT 環境の更なる充実と ICT を活用したきめ細かな指導体制の強化により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実することを目指します。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期においては、児童生徒1人1台端末と校内ネットワーク環境の整備を行うとともに ICT 指導員の配置を行い、その活用体制を整えました。また、1人1台端末を日常的・最大限に活用できる環境を作るため、活用目的の明確化、持ち帰りルールなど各種規程を合わせて整えました。

これらの取り組みにより1人1台端末が学びに欠かせないツールの一つとしての認識が高まり、学習において必要不可欠なものとなり、児童生徒個々の学びの理解度に合わせた個別最適な学びを実践することが出来ました。学習における1人1台端末が当たり前となった今、児童生徒個々が自由な発想で1人1台端末を活用できる体制を今後整えていきたいです。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第2期以降においても児童生徒1人1台端末を十分な予備機を含めて確実に維持し、校内ネットワーク等 ICT 環境の維持、向上に努めつつ1人1台端末の利活用を以下のとおり進めます。

1) 1人1台端末の積極的活用

1人1台端末の積極的活用を図るため、教員のニーズを把握した ICT 研修の開催、1人1台端末活用事例を情報交換する場の創設、教員個々のニーズ、課題を解決する ICT 支援員の設置を行います。

2) 個別最適・協働的な学びの充実

「令和の日本型学校教育」の構築を目指してが示す「個別最適な学び・協働的な学び」の一体的な充実を図るため、1人1台端末の稼働状況や活用方法の把握と学校現場へのフィードバックを積極的に行います。

3) 学びの保障

全ての児童生徒の学びを保障するため、1人1台端末を活用した児童生徒への教育相談の実施、不登校児童生徒の授業参加、視聴の機会の提供、特別な支援を要する児童生徒の学習への応用を行います。